

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(ECB <欧州中央銀行> 理事会)

2019/1/25

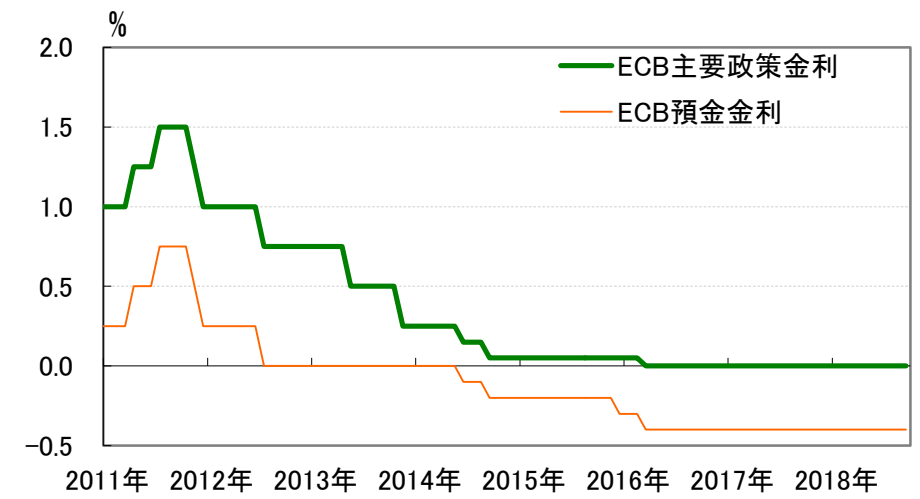
りそなホールディングス 市場企画部

〇概況

- ◆ 政策金利据置き、量的緩和の年内終了と2019年夏まで政策金利据え置きを再確認
- ◆ 保有債券の満期償還金の再投資は利上げ実施後も長期間継続
- ◆ 「リスクバランスは下振れ方向に転じた」と景気の見方を下方修正

- ✓ 1月25日に開催されたECB（欧州中央銀行）理事会では、**政策金利を据え置き**、主要リファイナンス金利を0.00%、中銀預金金利は▲0.40%、中銀貸出金利は0.25%とした。
- ✓ 以下2点を確認。①量的緩和の年内終了②2019年夏まで政策金利を据え置き。また満期を迎えた債券の償還金に関しては、政策金利引き上げ後も長期間にわたり再投資を続けるとした。
- ✓ 声明文では、保護主義の脅威、新興国市場の脆弱さ、金融市場のボラティリティ上昇をリスクとして指摘。**リスクバランスは「下振れ方向に転じた」とし、前回会合時の「下振れ方向に動きつつある」から、下方修正された。**
- ✓ ドラギ総裁は記者会見にて、貿易摩擦や英国EU離脱について言及し、これらのリスクは消えておらず、ECBの見通しに影響をあたえるため、注意深く評価していくと述べた。またマイナス金利については効率的な手段であり、全般的にはポジティブな効果があると述べた。
- ✓ 今回の会合では、**前回12月会合よりも欧州圏内の景気に対する見方が下方修正され、ややハト派的（従来よりも金融緩和的）なスタンスと捉えられ、ユーロ売りを誘った。**政策金利は2019年夏まで据え置きとの見通しだが、市場の織り込む利上げ時期は2020年まで後ろ倒しされている。利上げのタイミングに関する言及に引き続き着目していきたい。

【ECB政策金利と預金金利】



【ECBスタッフ見通し（12月時点）】

	2018年	2019年	2020年	2021年
実質GDP成長率	+1.9	+1.7	+1.7	+1.5
9月時点の見通し	+2.0	+1.8	+1.7	
HICP	+1.8	+1.6	+1.7	+1.8
9月時点の見通し	+1.7	+1.7	+1.7	

前年比、%

【出所】ECB、Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。